

～ひとに心 まちに風～
いきいき生活・しあわせ実感都市 はむら



はむらの 教育



小学校区文化財散歩④(羽村東小学校)
羽村の堰と桜

350年以上も前から、羽村と玉川上水取水堰は切っても切れない絆で結ばれています。四季を通じてさまざまな景色を楽しむことができますが、羽村の堰といえばやはり桜です。現在は史跡に指定されている玉川上水に沿った堤に、大正時代に植えられたのが桜並木の始まりでした。

シリーズ
特別支援教育②

平成24年4月 羽村第一中学校に

特別支援学級「マロニエ学級」を開級します

開級することで実現します!

- ① 羽村第三中学校E組の大規模化を解消し、よりきめ細かな教育ができるようになります。
- ② 市内西部に居住している生徒が通学しやすくなります。
- ③ 小学校と中学校の特別支援学級で継続した指導の工夫が進みます。

羽村市では、障害のある子どもたち一人ひとりの教育的ニーズに応じた教育を行うため、特別支援学級を設置しています。平成24年4月には、市内で4校目の知的障害特別支援学級として羽村第一中学校に特別支援学級「マロニエ学級」を開級します。

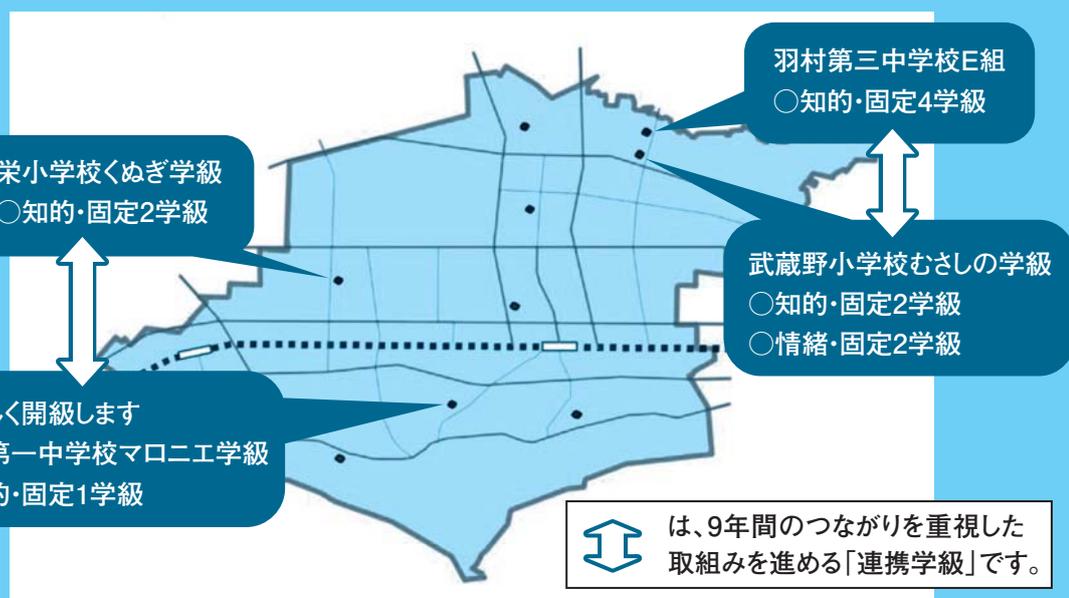
マロニエ学級には新1年生6人が入級し、東京都の基準により1学級編成、担任2人でスタートします。

現在、中学校の特別支援学級は羽村第三中学校にE組を設置していますが、今後は市内の特別支援学級と連携をとり、また9年間のつながりを重視していく視点から、栄小学校くぬぎ学級を連携学級として位置付けて教育活動を行います。



羽村第一中学校

羽村市の特別支援学級（固定学級）



※羽村第一中学校マロニエ学級以外は、平成23年度の学級数です。

問合せ

教育委員会特別支援教育担当
羽村第一中学校

電話555-1111
電話554-2012 (副校長)
電話554-1515 (開級準備担当 とちのみ学級)

東京駅伝

第3回中学生「東京駅伝」大会 平成24年3月20日（火）

- 女子の部スタート 午前10時
- 男子の部スタート 午後1時
- 大会会場および競技コース 味の素スタジアム・都立武蔵の森公園特設周回コース

羽村市の中学校が出場します!

中学生「東京駅伝」大会は平成21年度から東京都教育委員会の主催で中学2年生を対象として開催されています。

▼都内50以上の自治体に参加
昨年度は、3月11日に発生した東日本大震災の影響で中止となりましたが、今年度は都内から50以上の自治体に参加する予定です。

▼男子は42・195km
女子は30km

調布市の味の素スタジアムをスタートし都立武蔵の森公園特設周回コースをまわって、味の素スタジアムに戻りゴールします。
男子は42・195kmを17区で、女子は30kmを16区で、それぞれがタスキをつなぎ、区市町村対抗でタイムを競います。

▼選手選考会で男子21人
女子21人を選出

羽村市では、中学生「東京駅伝」大会に向けて選手選考会を行いました。

選考会には、市内中学校3校から87人の選手候補者が出場

し、男子21人、女子21人の代表選手が選出されました。

代表選手（敬称略）

【男子】

《羽村第一》大友亮、小林護、松尾海来、寺嶋志優、松本環
《羽村第二》新井雅康、伊丹遥、下地琢斗、山口大吾、大倉拓実、大谷康平、宮沢駿、野嶋天馬、富樫翼
《羽村第三》上野瑤介、長野遼真、松田淳平、大熊陽太、鈴木惣平、岸野周平、加藤直

【女子】

《羽村第一》石井深雪、庭山瞳、伊藤美月、世良朱里、澤井かすみ、片山ゆい、田中美桜、《羽村第二》丸山恵梨子、安本陽子、大澤聖、阿部川悠夏、鈴木あすか、中紗友里、青木巴奈、佐藤千光、工藤桃、中山琴音、《羽村第三》大矢美里、関谷友花、渡部あみ、吉田麗花

選手たちは皆、大会に向けて一生懸命練習しています。みなさんの熱い応援をお願いします。

問合せ 学校教育課指導係

社会教育関係団体

（文化系団体）

登録・更新の説明会

市内で活動中の団体・サークルは、教育委員会の認証により「社会教育関係団体」として登録することで、社会教育施設の使用料の減額や教育委員会掲示板の利用、社会教育用品の貸し出し、補助金の交付などの支援を受けることができます。

現在の登録の有効期間が3月31日（土）で満了となります。引き続き登録を希望する団体は、登録・更新に関する説明会へ参加してください。

また、新たに登録を希望する団体も参加してください。

※主にゆとりぎなどで活動している文化系の団体が対象です。

※スポーツ・体育系の団体は、スポーツセンターへ問い合わせてください。

日時 3月9日（金）

午後7時30分～8時30分

会場 ゆとりぎ小ホール

問合せ 生涯学習課生涯学習係

第14回地域教育シンポジウムが開催されました!!

今年で14回目となった「地域教育シンポジウム」は、羽村の年中行事として定着しています。今回の様子の一部を紹介します。

- <日 時> 平成24年1月21日(土) 午後2時～午後4時30分
 <場 所> 羽村市生涯学習センターゆとろぎ小ホール他
 <参加者> 地域の子どもの皆さん 75人
 地域の大人の皆さん 115人



今年のテーマはこれ

人とのつながり ～つながろう友だち・つなげよう笑顔😊～

「絆」を出発点に、今、改めて問われている「人とのつながり」について、子どもたちが思うこと、大人たちが考えることについて、意見交換を行いました。



オープニング～羽村第一中学校演劇部による寸劇

導入部分は、恒例となった羽村第一中学校演劇部による寸劇です。テーマに沿った創作演劇で、テーマに対する理解を深めることができました。

皆さんの熱演で、会場は大いに盛り上がりました。

メインタイムその1～グループ討議



6つのグループに分かれて、自分の意見を発表しあい、とても活発に意見交換が行われました。グループごとに出された意見をまとめました。

メインタイムその2～全体討議



全体討議では、グループ討議での意見交換を踏まえ、より深くまで掘り下げた意見発表がありました。

最後に、この日感じたことや思ったことを、それぞれの地域に還元したり、自分たちの生活に活かしていくことを確認して、シンポジウムは閉会しました。

問合せ 生涯学習課生涯学習係

アンケートから(一部抜粋)

〔テーマについて〕

- ・ タイムリーだった
- ・ 考えるべきテーマ
- ・ やや難しかった

〔グループ討議について〕

- ・ 子どもの意見をもっと聞きたかった
- ・ 進捗が難しそうだった
- ・ いい意見が出された
- ・ 同じ意見が多かった

〔全体討議について〕

- ・ 子どもの意見が聞かれて良かった
- ・ 全体のまとめが不十分だった
- ・ 和やかでよかった
- ・ 小学生の意見がなかった

羽村市小中一貫教育

～義務教育9年間を通じた一貫教育を目指して～ つなごう〇育てよう〇いっしょに

問合せ 学校教育課小中一貫教育担当

小中一貫教育は、義務教育9年間を通して、児童・生徒一人ひとりの個性や能力を最大限に伸ばすことができる、きめ細かな教育を実現しようとするものです。今までは小学校6年間、中学校3年間を分けて考えていましたが小学校と中学校の指導をつなげたものとする新たな教育をつくりあげていきます。

小中一貫教育により期待される効果

- ・ 中学校1年生の不安の解消（「中一ギャップ」の解消）
- ・ 学力の向上
- ・ いじめや不登校の減少
- ・ 個性や能力の一層の伸長
- ・ 豊かな人間性や社会性の育成

9年間の子どもの姿

児童・生徒の発達段階に応じた指導を効果的に行うため、義務教育9年間を前期・中期・後期に分し、各指導区分のねらいを設定し重点的に指導します。

※学習や生活の場（校舎）や入学式・卒業式、制服の着用等は従来通りです。

※p5～p8は「羽村市小中一貫教育」のパンフレットとして利用してください。

義務教育9年間を見通した滑らかな指導内容

羽村市の児童・生徒の実態に合わせ、各教科等で育てたい力を明らかにし、指導区分ごとの重点に基づいた基本カリキュラムを作成しました。

この基本カリキュラムをもとに、義務教育9年間の指導内容に系統性をもたせ、継続した指導を行っていきます。

英語コーディネーター・学習コーディネーターの配置

小中一貫教育の指導体制の充実のために英語コーディネーターと学習コーディネーターを各校区に1名ずつ配置します。

英語コーディネーターは英語教育のカリキュラムに沿って外国人講師（ALT）を導入し、小学校の英語活動と中学校の英語科を効果的につなぎ、授業の質を高めるアドバイスをします。

学習コーディネーターは羽村学（郷土学習）と人間学（キャリア教育）のカリキュラムに沿って地域の人材の発掘や導入、授業の際のアドバイスを行います。

前期

（小学校1年生から4年生）は、基礎をしっかりと身に付ける時期。

学校でのきまり、学習の仕方などを含め4年間で、中期で活用できるようにしっかりと身に付けさせます。

中期

（小学校5年生から中学校1年生）は、前期で学んだ基礎をもとに自ら学ぶ力を身に付ける時期。

小学校から中学校へステップアップするために自立的な学習ができるようにしていきます。

後期

（中学校2年生から中学校3年生）は、前期・中期で身に付けた力を様々な形で活かす時期。

大きく広がる世界で力を発揮できるようにしていきます。

羽村第一中学校区

羽村東小学校・羽村西小学校・小作台小学校・羽村第一中学校

5つのつなぐ

①教科でつなぐ

小学校と中学校のそれぞれの学習内容や授業方法について理解を深め、連携重点を決め、見直し・改善を図ります。(教科・領域別情報交換会)

②生活指導・特別支援教育でつなぐ

基本的な生活習慣(挨拶、言葉づかい、忘れ物をしない、家庭学習の習慣化)の確立を図ります。(生活指導懇談会)

不登校の予防に取り組みます。支援の方法を伝え、対応への共通理解を図ります。

(いじめ調査・あいさつ運動・生活指導懇談会)

就学支援シートを活用し、支援の方法や関係機関との連携について情報共有します。児童・生徒の共通な見方が行えるよう、行動観察を心まえた授業観察を行い、宋小学校特別支援学級とも連携を図ります。(情報交換会議)

③授業でつなぐ

小学校英語教育(外国語活動)と中学校英語科における連携指導を行います。(英語乗り入れ授業)

小学校教員と中学校教員が協力し中学校への

つながりの重点を組み込んだ授業をすることにより、小学校と中学校の接続を円滑にし、中学校生活への不安の解消を図ります。(交流授業)

④子どもでつなぐ

小学生が中学校を(施設見学・授業参観)中学校生徒会役員が小学校を(ビデオ放映や質疑応答)訪問することで、小学生の中学校生活に対する不安を軽減し、期待を高めさせます。学校相互訪問)

小学校サマースクールへの中学生参加、小学生の部活動体験を通じて、小学生の関心の高い部活動に対する不安を軽減させることも、中学生には、指導する立場であることの自覚を高めるなどの育成を図ります。(部活交流)

「星空のコンサート(羽村西小学校)」を通して、さらに小学校3校間の連携も推進していきます。

⑤地域でつなぐ

各小学校の地域行事に中学生の参加を呼びかけ、中学生による少年少女球技大会の指導、手伝いなどを通じて、地域を愛する心情をへんむとともに、学校・家庭・地域の連携体制強化を図ります。

羽村第二中学校区

富士見小学校・宋小学校・松林小学校・羽村第二中学校

個々彩々

地に根ざし 明日を切り開くはむらっ子

○学力向上の取組み

基礎・基本の定着を図ります。(始業前、朝学習、昼学習などの時間を使った計算や漢字、言葉の学習)

乗り入れ授業を実施し、小中の交流を図ります。(外国語活動および算数の授業で中学校教員が乗り入れ授業を行います。中学校1年生の入門期の授業を、小学校の教員が参観)



生活指導懇談会

家庭学習の充実を図ります。(家庭学習がんばり表などを使い、継続的・系統的に家庭へ連携)

○生活指導の取組み

あいさつの励行と礼儀作法を育成します。(あいさつ運動)

きまりを守る態度を育成します。人権教育を推進します。(いじめの根絶・交通安全教室・薬物乱用防止教室)規則正しい生活習慣を育成します。(家庭との連携)

責任をもつ諸活動に取り組める態度を育成します。(部活動体験)

○特別活動の取組み

小学生と中学生の合同の活動を実施し、中学生のリーダーシップを育て、児童・生徒の主体的な活動を通して、豊かな人間性や社会性の育成をします。小学生と中学生の交流とともに、小学校3校の児童の交流を図ります。(合同ボランティア活動・体験入学 新入生説明会・生徒会の小学校訪問) 人権教育の推進を図ります。



合同ボランティア活動

(ハートフルフューチャー(人権尊重・いじめ防止等啓発活動)の取組みを4校合同で実施)

○特別支援教育の取組み

小学校と中学校が情報を共有し、一人ひとりの発達特性に応じたきめの細かい、継続的な指導をします。(小学校と中学校の接続の時期に、引継ぎのための部会を設置し、個別の教育支援計画や指導計画の引継ぎなど、情報交換を実施) 特別支援教育コーディネーターを中心に校内体制を充実します。(各校で特別支援教育についての研修を実施) 宋小特別支援学級は羽村第二中学校特別支援学級と交流活動を行う予定です。



部活体験

★部活動の取組み

小学生が中学生に憧れる気持ち、中学生が小学生に範を示そうとする姿勢を育みます。(部活動体験 野球部体験教室)

★放課後の取組み

児童・生徒の基礎学力の定着を図ります。児童の放課後の居場所づくりを行います。(補習教室)

羽村第三中学校区

武蔵野小学校・羽村第三中学校

むすぶひびくきろめく

★学力向上の取組み

9年間の系統性のある課題に繰り返し取り組み、基礎・基本の定着を図ります。(始業前の朝自習・振り返りタイム)

指導区分中期および後期において、継続的・系統的な家庭学習の定着を図ります。(家庭との連携) 小学校6年生の外国語活動および算数の授業に中学校の教員が乗り入れ、授業を行います。中学校1年生の数学の授業に小学校6年生担任が乗り入れ、理解が不十分な生徒の学習サポートを行います。(相互乗り入れ授業) 小学校6年生が中学校の授業と部活動を体験します。(中学体験)



英語乗り入れ授業

★生活指導の取組み

基本的な生活習慣を確立させます。思いやりのある児童・生徒を育てます。(小中共通した生活目標の設定・あいさつ運動)



小中合同あいさつ運動

交通安全指導 方引き防止指導・薬物乱用防止指導)

★特別活動の取組み

奉仕活動の喜びを体感させます。小学校6年生のリーダーシップを発揮させる場とします。小学生が小学生に範を示そうとする姿勢を育みます。(縦割り清掃活動)

★特別支援教育の取組み

特別支援学級児童の進路の見直しと特別支援学級生徒の精神的成長を目指します。(交流行事・交流学习) 市内特別支援学級児童・生徒の実態や様子の成長ファイルを作成し、学習支援や進路指導に役立てます。(個別の教育支援計画の引継ぎ 新入生申し送り 情報交換)

羽村市独自の特色ある教育内容

英語教育

小学校1年生から英語教育を行います。

小学校では「聞くこと」「話すこと」の音声面を中心とした英語を用いた「コミュニケーション」の素地を育てます。



小学校2年生

中学校では小学校での経験をもとに「読むこと」「書くこと」を加えることで、4つの技能を9年間を通して総合的に育てます。



中学校1年生

羽村学(郷土学習)

前期は「羽村に親しむ」、中期は「羽村にかかわる」、後期は「羽村の明日をつくる」がテーマです。

羽村の郷土を愛し、羽村の良さに気付き、これからの羽村に生きる人々の生活、文化や環境などを守っていくことのできる態度と、それらを生かした実践力を育てます。



稲作体験



羽村市総合防災訓練

人間学 (キャリア教育)



職場体験学習

前期「友達と学ぼう」中期「自分を見つめよう」後期「社会へ向かって」をテーマに児童・生徒や地域との相互交流活動や学習を積み重ねていきます。



昔遊び

その中で自己肯定感をもてるようにすることや、自らの生き方について考え、主体的に取り組み、実践できる力を育てます。

親学(家庭教育講座)

家庭教育に対する支援を行うためにPTAと連携を図りながら、子どもに身に付けさせておきたい力や現在の子どもを取り巻く環境などについて保護者や地域に情報提供するための講座等を実施します。



親学

羽村市ホームページでは「小中一貫教育の取り組み」を、随時、掲載していますので、ぜひご覧ください。
(アクセス方法 羽村市ホームページ⇒羽村市教育委員会⇒小中一貫教育⇒取組み)

はむら総合型スポーツクラブはむすぽ 平成24年度プログラム

■プログラム(会場スポーツセンター)

- | | | | |
|-----------------|-----|---------------|-----|
| ○親子で楽しむリズム遊び教室 | 月1回 | ○トールペイント | 月2回 |
| ○書道教室 | 月2回 | ※はつらつ体操 | 週1回 |
| ○ベビーマッサージ&ママビクス | 月2回 | ○スポーツ吹矢 | 週1回 |
| ○ジュニアチアダンス | 週1回 | ○子どもと一緒にママビクス | 月2回 |
| ※バドミントン | 週1回 | ○西多摩ジュニア体操 | 週1回 |
| ※スポーツ広場 | 週1回 | ○ソフトヨーガ | 週1回 |
- ※はスポーツセンター改修工事のため、8月までの実施となります。

■専用登録制プログラム(会場スイミングセンター、富士見公園)

- アクア&スイム 週1回 (スイミングセンター改修工事のため10月~12月休みの予定)
- 夜のスイミング教室 週1回 (スイミングセンター改修工事のため10月~12月休みの予定)
- 青梅マラソンを走ってみよう 週1回

■イベント

- はむすぽ祭(まつり) 4月21日(土) ○第3回卓球大会 開催日未定
- 会員交流会(うどんづくり体験&レクリエーション) 8月25日(土)コミュニティセンター

はむすぽの会費、参加費、入会・申込方法などは、はむすぽホームページで確認してください。

INFORMATION

生涯学習センターゆとろぎ	Tel 570-0707	羽村東小学校	Tel 554-5663	小作台小学校	Tel 554-1431
図書館	Tel 554-2280	羽村西小学校	Tel 554-2034	武蔵野小学校	Tel 555-6904
郷土博物館	Tel 558-2561	富士見小学校	Tel 554-6449	羽村第一中学校	Tel 554-2012
スポーツセンター	Tel 555-0033	栄小学校	Tel 554-2024	羽村第二中学校	Tel 554-2041
スイミングセンター	Tel 579-3210	松林小学校	Tel 554-7800	羽村第三中学校	Tel 555-5131
弓道場	Tel 555-9255				

教育随想

「その場、その空気の中で」



二〇〇八年十月五日、日曜日の日記。イタリア留学中のその日。ローマ地下鉄A線でサン・ジヨバンニ・イン・ラテラノ大聖堂に行く。丁度日曜のミサをやっている所を見学。聖歌隊のコラスが美しく響き、荘厳な雰囲気醸し出し、鳥肌が立つようだった。

我々団塊の世代は、小学生の時、日本の音楽ではなく西洋音楽を最初に学んだ事が思いおこされる。音楽とは本来、儀式や風習娯楽を含め、その場にあるものと痛感する。

日常生活ではどうだろうか。テレビの映像を見ている所詮二次元の平面の世界である。実際の現場のその真実の力は伝わりにくい。

東日本大震災による惨状はどの様に写ったのだろうか。その現場を、その空気の中で見た人の驚きはどれ程のものであったのか。目に涙をためながらも現実を直視した人々の心を想像する事さえ到底出来そうにない。

教育委員会委員 並木恒延

校長先生の「私の一冊」

『親鸞』 五木寛之 著
 昔、テレビの対談で、五木寛之が朝鮮半島から引き上げてきたときのことを話していたことがある。心優しき者はみな船の中で死んでいったと；、生き残った自分自身に対する懊悩（おのう）の深さを垣間見た瞬間であり、五木寛之という作家に魅せられた瞬間でもあった。
 親鸞は、実在の人物である。その実在の人物にフィクションとしてのストーリー性をもたせ、悩み、傷つき、迷いながら生きる「人間」親鸞として生き生きと描いている。忠實（ただのり）範宴（はんねん）、緯空（しやくくう）、善信（ぜんしん）と名前を変え、最後に親鸞と改名する。本の中に、親鸞の言葉として「わたしはがとめていっているのは、よく死ぬことではない。重い間をかかえて、それでもなお欲びにあふれて生きる道だ」という一節がある。親鸞という本を読みながら「人間」五木寛之の魂に触れているような不思議な錯覚に陥ると同時に、自己の内面と対峙せざるを得ない苦痛と洗浄されたような心地よさで涙があふれ、静かな激情が走った一冊である。

富士見小学校
 校長 坂井 美穂子

子ども映画会

ゆとりぎでは、毎月1回、日曜日の午前中に地域の子さなお子さんと保護者の方を対象に子ども映画会（無料）を実施しています。

平成23年度は38話を上映

今年度は、アニメの昔懐かしい映像や味わい深い内容の話など11回で38話を、16ミリ映写機で上映しました。
 アンケートでは、小さいお子さんから「楽しかった」「かたしお話を聞いた」「保護者からは「懐かしかった」「子どもに良い体験をさせることができた」「毎回家族で楽しみにしています」「久しぶりに昔を思い出し、豊かな気持ちになりました」

など、好評をいただきました。

市民サークルの協力で実施

この上映会は、羽村映画クラブ、はむら16ミリ映像研究会の2つの市民サークルの皆さんに、映写機操作、会場作り、広報などの協力をしていただいたり、2つのサークルと参加者とのふれあいも貴重な体験となっているようです。

来年度の日程、場所などについての詳細についてはお問合せください。

問合せ 生涯学習センターゆとりぎ

国体推進室から

リハーサル大会が 開催されます



ゆりーと

今年度は、岐阜県で第67回国民体育大会が開催されます。
 岐阜県に出場するチームを決定する「第67回国民体育大会関東ブロック大会」が、平成24年8月25（土）・26（日）に、第68回国民体育大会でパレーボール競技を開催する6市（羽村市、立川市、町田市、小平市、国分寺市、狛江市）で開催されます。
 この大会は、第68回国民体育大会（スポーツ祭東京2013・多摩国体）のリハーサル大会として開催するもので、本大会に向けた準備の状況を各市が確認するための大会でもあります。
 羽村市スポーツセンターでは、平成24年8月26日（日）に、パレーボール（成年女子）の関東ブロックの代表を決める試合が行われます。
 詳細が決定しだいお知らせします。

大会ボランティアを募集します

今後、リハーサル大会や本大会に向けてボランティアを募集する予定です。ゆりーとダンスのボランティアも募集する予定です。
 詳しくは、5月1日号でお知らせします。

「ゆりーとダンス」完成！

東京都では、スポーツ祭東京2013を盛り上げるために、子どもから高齢者までみんなで踊れる「ゆりーとダンス」を作りました。
 今にも踊りだしたくなる、元気で楽しいダンスと楽曲に仕上がっています。国体推進室では、振付指導が入った「ゆりーとダンス」のDVDを、幼稚園や保育園等に配布し、多くの皆さんに覚えていただけるように、「ゆりーと」と一緒に訪問して、実演と指導を行う予定です。
 また、東京都のホームページでも見ることが出来ます。みんなで振付けを覚えて一緒に「ゆりーとダンス」を踊り、多摩国体を盛り上げていきましょう。



ふれあい綱引き大会で披露された「ゆりーとダンス」

※「スポーツ祭東京2013」とは、第68回国民体育大会と第13回全国障害者スポーツ大会を、スポーツの夢と感動を伝える一つの祭典として表す大会の愛称です。

「図書館に対する私の意見・提案」

羽村市図書館では、市民の皆さんに身近で利用しやすい図書館となるよう、日頃から、利用者のご意見・ご提案を伺い、図書館運営に生かしていくよう努めています。また、その内容等については、定期的にお知らせしていますが、今回も、最近いただいたご意見等の主なもの内容とその対応等についてご紹介します。

【意見・提案①】

図書館の複写機で複写できる資料を図書館の所蔵資料に限定しないでほしい。

▼図書館からの回答等

図書館の複写サービスについては、著作権法第31条により、館内資料だけとなっています。ご理解をお願いします。

【意見・提案②】

CD視聴席は休憩席ではないので、視聴しない人は座らせない方がいいと思う。
 ぜひ、検討していただきたい。

▼図書館からの回答等

職員の見回り回数を増やし、注意していきます。

【意見・提案③】

3階の閲覧席では、学生か友人同士で席を確保しているようで、おしゃべりが多く、注意しても聞き入れてもらえないから、図書館側にて、学習の席を指定するようにしていただけるとありがたいです。

▼図書館からの回答等

ご意見をいただきましたありがとうございます。職員の見回り回数を増やし、注意していきます。なお、夏期期間は、学習室として生涯学習センターゆとりぎを利用することができます。

【意見・提案④】

ゴミ箱がないのが不便である。不要となったメモ用紙やティッシュなどのゴミを捨てる場所がないのが、公共の施設であるのに全く理解できない。ぜひ、検討していただきたい。

▼図書館からの回答等

羽村市では、個人のゴミは持ち帰っていただくことのできるから、公共施設にゴミ箱は設置していません。ご理解をお願いします。

【意見・提案⑤】

屋上にも、ベンチだけではなくテーブルを置いてほしい。

▼図書館からの回答等

屋上のベンチは、屋上の草花の観賞用として設置していますので、ご理解をお願いします。

問合せ 図書館



特定非営利活動法人羽村市体育協会および羽村市文化協会は、市や教育委員会と協働して、市のスポーツや文化を推進していくための団体です。

羽村市文化協会

Tei 080-2558-1010

第42回羽村市文化祭総括

平成23年10月15日から11月6日まで、羽村市制施行20周年記念事業として行われた第42回羽村市文化祭には、80団体が参加し、会場には延べ1万7175人が訪れました。

12月22日(木)ゆとりぎ講座室1で、文化祭に参加した団体が出席し、次年度に反映する意見交換や会計報告等の総括を実施し承認されました。

第7回羽村市美術・工芸展

「羽村市美術・工芸展」は羽村市文化協会主催事業です。

1期～5期にわたった実施を計画しています。

日程 5月8日(火)～6月10日(日)

※詳細は5月1日号でお知らせします。

第35回サロンコンサート 「羽村フィルハーモニー管弦楽団室内楽」

日時 5月6日(日) 正午～午後0時30分
会場 ゆとりぎロビー

1月8日に開催した箏・尺八のサロンコンサート「初春の調べ」、初釜、生け花、書き初めなどには、多くの市民が訪れました。



※サロンコンサートへの出演希望する場合は、市野(555-6980)までご相談ください。

特定非営利活動法人 羽村市体育協会 Tel 555-1698

第26回羽村市ふれあい綱引き大会 結果

— 東京都綱引連盟会長杯争奪 —

1月22日(日)スポーツセンターで開催された第26回羽村市ふれあい綱引き大会には、48チーム453人が参加しました。

【東京都綱引連盟会長杯 男子の部】 東第2町内会

※男子の部は、町内会・自治会対抗の部優勝チームと一般男子の部優勝チームが決勝戦を戦いました。

【東京都綱引連盟会長杯 女子の部】 マドンナ

- | | |
|-------------|-------------|
| 《町内会・自治会の部》 | 東第2町内会 |
| 《一般男子の部》 | 福生消防署スーパー |
| 《女子の部》 | マドンナ |
| 《混合の部》 | 福生消防署ハイパー |
| 《小学生の部》 | 武蔵野ポポポップコーン |

